

(様式第2号)

事業所名 グループホームふるさとの森

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 令和 2年 1月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	ホームだけの思い付き外出が殆ど。地域の外出ボランティアやご家族の協力を仰ぐことが殆ど無い。外出を通じて地域やご家族様にも開けたホームでありたい。	年に1~2回、地域ボランティアの活用、家族様同伴の外出を計画する。	・地域資源の活用、若しくは開発の為に、地域推進ケア会議に社会福祉協議会や老人会役員の参加をお願いする。 ・ご家族様からの聴き取りや必要であれば話し合いの場を設ける。	24ヶ月
2	35	年2回の防火訓練実施中であるが、成長見られず。防災への意識が低い。地域消防団との繋がりも希薄。	・年2回の防火訓練に加えて、基本行動の勉強会を実施。 ・地域消防団との連携。	・毎月課題と責任者を決めて取り組む。 ・地域消防団との連携が出来るよう取り組む。	24ヶ月
3	26	介護計画をきちんと理解出来ているか。特に生活リハビリについては職員によつてのバラツキがあり意識の共有が少し希薄になって来ている。生活リハビリ=活力の意識を持つ。	計画書への理解を深め、其々に合ったサービスが遅延なく実施出来る。	・計画作成者は職員に対し分かり易く説明行い、モニタリングによりバラツキの無いよう指導行う。 ・会議の中で生活リハビリの重要性についての情報共有の場を設ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。